



特定非営利活動法人

おもしろ科学たんけん工房

2006年4月1日発行

たんけん通信 第15号

“おもしろ科学体験塾” 2006年度スタート4ヶ月の予定

予定表 変更する場合がありますので、参加申し込みは募集のチラシや、ホームページの案内を見て行ってください。

月日	開催場所	テーマ
4/8	柏陽高校	赤青黄色に光る信号機
4/15	アートフォーラム	空気の重さ、圧力のふしぎ
4/15	鵜沼中学	ふしぎな紙のマジックワーク
4/22	湘南台高校	竹とんぼを作ってナイフの使い方
4/22	永野小学校	赤青黄色に光る信号機
4/22	※こども科学館	ICラジオの製作
4/29	舞岡公園/ フォーラム(戸塚)	親子で楽しむ自然観察会
5/13	柏陽高校	レモン電池と備長炭電池
5/13	鵜沼中学	ICラジオの製作
5/20	湘南台高校	ブザーを作ってモールス信号
5/20	永野小学校	磁石と電気のふしぎ; モーター
5/27	フォーラム(戸塚)	空気の重さ、圧力のふしぎ
5/27	※こども科学館	レモン電池と備長炭電池
6/03	アートフォーラム	テクテクザウルスを作ろう
6/10	鵜沼中学	水をキレイにする大実験
6/10	柏陽高校	ヘロンの噴水をつくろう
6/17	湘南台高校	紙コップでヘッドフォン
6/17	永野小学校	レモン電池と備長炭電池
6/24	フォーラム(戸塚)	ふしぎな紙のマジックワーク
6/24	※こども科学館	紙コップでヘッドフォン
7/08	鵜沼中学	ヘロンの噴水をつくろう
7/08	柏陽高校	テクテクザウルスを作ろう
7/15	※こども科学館	夏だ! 船をつくろう
7/15	永野小学校	紙コップでヘッドフォン
7/22	湘南台高校	すもうロボット
7/22	フォーラム(戸塚)	ジェットコースター
8/12	新林公園 (鵜沼・湘南台)	セミの抜けがら調査

- ※ 印の教室の申し込みは[横浜こども科学館]へ
- * フォーラム=男女共同参画センター横浜(戸塚)
- * アートフォーラム=男女共同参画センター横浜北

＝2006年度事業計画＝
横浜市との協働事業が
今年度も継続して

科学体験活動推進スタッフ養成研修

今夏から来春にかけて3回開催予定

現場実習:

「おもしろ科学体験塾」でのOJTが中心。左記会場でアシスタントの実習をします。

集合研修:

- 第1期 7～9月、アートフォーラムあざみ野
男女共同参画センター横浜北で
- 第2期 10～12月、洋光台
横浜こども科学館で
- 第3期 1月～3月、戸塚
男女共同参画センター横浜で

定員:各期 30名、

対象者:18歳以上で、ボランティアとして

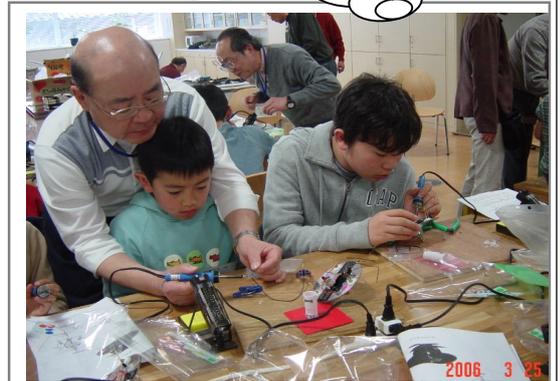
子どもを対象とする実践活動ができる方

アートフォーラム
あざみ野で

3月25日

“おもしろ科学体験塾”が
開催されました

おもしろ科学体験塾のほかにも、出前授業や、イベントへの出展もできる限りやっています。



“ゲジゲジUFOを作ろう”で、子どもの半田付け作業を手伝う ボランティアスタッフ



荒関 卓さん

A1: 1946年、北海道の北の果て稚内で生まれました。小さい頃から、もの作りが好きでした。

1969年、就職で川崎に来ました。その数年後、横浜の住人となり、現在に至っています。若い頃は、通信関係のエンジニアをしており、回路設計もしていました。しかし、もうすっかり忘れてしまい、昔取った杵柄で、といえないところが悲しいところです。今勉強し直し中です

A2: 長い会社生活の間、地域社会との関係が薄かったため、定年が近くなった今、深く反省し、子供達と一緒に楽しめる当工房に参加しました。

A3: 子供と一緒に工作を楽しむことはもちろんですが、そのうち、子供の喜ぶ実験・工作のアイデア作りもやってみたいと思っています。

A4: これからのことではありますが、前から娘に頼まれていた、障害児向けのおもちゃ・器具の作成にも少し力を割いていくつもりです。

A5: 身の回りのいろいろなことをただ眺めているだけでなく、いつも疑問を持ち、そして自分で試してみる、という好奇心を持って欲しいものです。

スタッフの プロフィール

澤井 弘子 さん

A1: 1956年東京生まれ。大学は農学部を卒業後、デパート勤務。結婚後は学校の購買部に勤務。



A2: 理科が好き。実験が好き。

A3: 顕微鏡の世界を写真などに写して見てもたのしいのでは? あるいは、食品などを使った色や香りの変化もおもしろそう。

A4: いろいろな図書館に行ってみたり、ふらっと都内の散策も好きですね。

A5: 教科書の中だけではなく、実験などももっと体験して五感でおもしろさを味わってほしい。

A6: いろいろ体験しているいろいろな疑問を持って、それを追及する楽しさを子どもたちが学んでもらえるように願っています。

- Q1 生まれた年と、簡単な略歴を教えてください。
 Q2 たんけん工房に参加するようになったいきさつと、動機を簡単に説明してください。
 Q3 たんけん工房でやりたいことはどんなことですか 具体的なテーマでも、夢のイメージでも。
 Q4 趣味や道楽は?
 Q5 子どもたちに ぜひすすめたいことはなんですか?
 Q6 その他付け加えたいことがあれば、ご自由にひとこと。



書川 貞夫さん

: 1937年 満州・鞍山生まれ。引き揚げ後、鹿児島在住10年。機械工学部卒業後機械メーカー長岡工場で生産設計に従事(15年)。開発部門(7年)後エンジニアリング部門(19年)に従事。

A2: 横浜こども科学館でインストラクター養成研修が行われていることを知り第二回および第四回に応募。物作りへの執着心(?)と科学館へ歩いて行けることが動機です。

A3: 自分も楽しく、子ども達にも楽しんでもらえるような事をしたい。

- ・交流電気を作ってモーターを廻そう
- ・トランジスターで遊ぼう
- ・光合成と植物工場
- ・電磁石ロボット遊び

A4: 園芸→猫の額程の庭に、野菜や花を植えて楽しんでいます。 水泳→50の手習い。

A5: 無を有にすること

A6: 人さまのおし様に接することに、未だに自信がありませんが、駄目親父を反省しつつ、少しずつ長く続けて行きたいと思っています。

野津 信子さん



A1: 1934年生まれ。

名古屋市立大学薬学部を卒業後、中学

(理科)高校(生物/化学)の教諭、のちに講師。

A2: 幼い頃(小中学生)の疎開先の田舎の自然体験、学生時代の失敗しながらも夢中になって楽しんだ実験や観察。在職中の科学クラブ活動など、定年退職後《このたのしさを子どもたちに伝え味あわせたい》という気持ちを持っておりました。広報よこはまでたんけん工房を知り応募しました。

A3: 生物《動物、植物、ミクロの世界》・科学関係やそれらと衣や食につながる実験・観察。

A4: 神奈川県植物誌調査会の会員として県内外の野生植物の調査。

A5: 自然の中で思いっきり遊んでほしい。

A6: ちょっと歳をとり過ぎました。



松島 克雄 さん

A1: 1939年福島県生まれ。大学(物理系専攻)卒業後、総合電機系(半導体・IC等

の研究開発)および自動車載機器系(音響・通信機器の開発)の会社勤務を経て、高専(電子情報工学系)勤務後リタイア。

A2: 現役時代、若手技術者や学生達との実験や演習での「生き生きと取り組むモノ作り」の光景を思い出し、純粋な子ども達にも、あの生き生き感を是非味わわせてあげたい。

A3 「なぜ? どうして?」と感じる要素を多く含む新規な工作アイテムの開発。

A4: [陶芸]素朴な焼き締め作品創りに注力中。

[映像]ドキュメンタリー風の小作品創りを試行中。

A5: [好きこそものの上手なれ!] 興味が湧くモノ・コトにとことん嵌って熱中すれば、自ずと上達する。

[習うより、慣れよ!] 畳の上で、何度水泳ぎの練習をしても、頭の中でしか泳げない・・・の譬えあり。

A6 本工房とのネットワーク交流の形で、地域(瀬谷区〜かがくのめ〜)の自主活動に臨みたい。

第2面〜4面には、スタッフのプロフィールを紹介しております。(今号は一気に12名を掲載しました。)

川島 耕三 さん



A1: 1943年、横浜生まれです。専攻は電気工学、電気メーカーで主に一般照明用

光源の開発と製造に携わりました。現在は横浜市青少年交流センターで小・中・高生と向き合っています。

A2: 定年退職して時間に余裕ができたときにたんけん工房のインストラクター養成講座を知り、受講・入会しました。

A3: 子どもたちと一緒に理科実験や物作りの面白さを楽しみたい。

A4: 取り立てて言うほどのものはありません。いつか木版画に挑戦してみたい。

A5: 何事も先ずは自分でやってみること。

A6: 子どもが自ら考え行動し、大人はそのチャンスを提供したり手助けをする、これが目下のテーマです。こんな活動を実験してみたいと思っています。

杉原 京子 さん



A1: 1972年横浜生まれ。横浜育ち。

看護学校卒業後、小児科病棟勤務。

ベビー室も経験し、命の輝き、生命力を体感しました。

結婚・出産を機に退職し専業主婦をしていましたが、4月からはディサービスのお手伝いをします。

A2: 去年の横浜市の広報を見て、興味を持ち、8月の研修に参加しました。その後も、「今度はどんなことをするのだろう。・どんなことが出来るのかな。」と子供と一緒にワクワクしながらの参加です。

A3: たんけん工房は、対象が高学年からなので、低学年や幼児にも楽しめて、色々なことに興味を持てるようにしていけたらと、思っています。

A4: 趣味は家庭菜園やハーブ作り。カブトムシの飼育? 成虫→卵→幼虫→さなぎ→成虫のサイクルも三年目になります。以外にほったらかしでも大丈夫なので、子供と楽しんで育てます。

A5: 好奇心を持ち、色々な体験をして感受性を豊かにして欲しいです。そうすることで生命の尊さも知って欲しいなあ。

A6: 今後も、たんけん工房の活動を通じて、自分も子供と同じように成長していくつもりですので、よろしくお願ひします。

武田 寿(ひさし) さん



A1: 1959年9月、石川県七尾市生まれ。

東邦大学薬学部卒。厚生労働省検疫所

勤務。現在、横浜検疫所輸入食品・検疫検査センターにて輸入食品の理化学的検査担当。

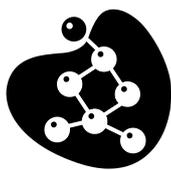
A2: 科学体験活動インストラクター養成研修会募集案内チラシを見て「親子共々体験を通して学び楽しさを発見する」という工房の趣旨にぜひいっしょにやってみたいと思ったから。

A4: 旅行、ドライブ、写真など。

A5: 失敗することを恐れずに積極的に何にでもチャレンジすること。一度失敗しても、あきらめず、繰り返し、できるまで努力すること。

A6: 地域別発足会のときに、この会に事務所がないことを知り、たいへん驚きました。てっきり、科学館等に事務所があるものとばかり思っていました。

行政との連携がもっと強くなれば、工房の参加費も安くなり、もっとたくさんの子供が参加できるのではと感じました。



西 健 さん

・1943年 東京杉並生まれ
・東京→米沢→東京→仙台→横浜 育ち

- A2: 子どもと一緒に工作する機会が持てるため
- A3: 一定メンバーで一定期間活動し、子ども達同士が
家族・兄弟のような連帯感を持てるようになれば!
- A4: 山歩き

松田武幸 さん



- A1: 1944年山形県生まれ。
大学では応用化学を専攻、ゴム製品のメーカーに38年間勤務。主に材料及び製品の開発を担当。また、工業会の技術委員、主査としてJISおよび規格作りに参画しました。
- A2: 退職後何かボランティア活動を通して、地域社会に役に立ちたいと思っていた時、「おもしろ科学たんけん工房」の研修会のチラシを見、また工房の活動の趣旨に共感し、研修を受け入会しました。
- A3: 具体的なアイデアは今のところありませんが、ゴムやプラスチックの特性を活かしたテーマを考えて見たいと思っています。
- A4: テニス、囲碁、絵画鑑賞、時にはギターなどを弾くこともあります。
- A5: 工作を通して、物理や化学現象に対して興味や好奇心を持つ子どもが一人でも増えてほしいと思います。

おもしろ科学たんけん工房の スタッフの状況、 2006年3月末現在

種 別	計	非実働	実働
正 会 員	41	12	29
協力会員(サポーター)	51	5	46
小 計	92	17	75
賛 助 会 員	25	25	--

実働メンバーの居住地別状況

藤沢(湘南台~鶴沼方面)	24
横浜(中部~北部方面)	12
横浜(泉区、戸塚区、港南区方面)	18
横浜(栄区、金沢区、磯子区方面)	21

今後横浜中部・北部方面のスタッフ増強が課題です。

- Q1 生まれた年と、簡単な略歴を教えてください。
- Q2 たんけん工房に参加するようになったいきさつと、動機を簡単に説明してください。
- Q3 たんけん工房でやってみたいことはどんなことですか 具体的なテーマでも、夢のイメージでも。
- Q4 趣味や道楽は?
- Q5 子どもたちに ぜひすすめてほしいことはなんですか?
- Q6 その他付け加えたいことがあれば、ご自由にひとこと。

山川 幸子 さん



- A1: 1951年、金沢区に生まれ育ち、
大学で教育学部の理科を専攻し小学校教員に。結婚退職後は、子育てと家事中心の日々であったが、10年前学習塾講師として仕事に復帰した。横須賀市の適応指導教室(不登校の小・中学生の教室)の指導員を経て、2年前に設立したNPO法人「アンガージュマン・よこすか」(不登校・ひきこもりの子どもたちの居場所、学習・就労支援)で学習支援のスタッフをしている。
現在、学校に行っている・いないに関係なく40人前後の小学生から高校生の子どもたち対象に個別学習指導をしている。
- A2: 市の広報を見て興味をもったから。上記の適応指導教室でも身近な材料を使って理科実験(みょうばんの結晶作りや紫きゃべつの液で酸・アルカリ調べ等)をやったことがある。
今のNPOでも子どもたちに理科の楽しさを体験して欲しいと思った。
- A3: 数学の等式の概念の学習にも利用できるようなてんびんを作ってみたい。
- A4: 書道。ここ数年ご無沙汰。
- A5: 身近な現象に五感を使って身体で感じ、感動するところを育てたい。

山本 武美 さん



A1: 昭和15年10月、横須賀市生まれ。
工場で産業機械の部品製造に従事

- A2: 子どもたちに工作の楽しさを教えたい。
- A4: 博物館で子どもたちに磯や川での自然観察のボランティア活動をしています。
- A3: 廃品の解体と部品の収集。そして収集した部品で工作をしたい。
- A5: 物を作る工作技術を教えたい。

おもしろ科学体験塾など

2005年度最終3ヶ月の実績

開催日	会場	テーマ	参加人数	応募人数
1/14	鶴沼中学校	光と色のふしぎな世界---簡単カメラ 兼分光器を作って光の実験	19	20
1/14	永野小学校	相撲ロボットを作ろう	22	24
1/21	柏陽高校	ICラジオを作ろう	25	35
1/21	湘南台高校	静電気のふしぎを実験/静電気モーターを作る	5	7
1/28 午前	こども科学館	静電気のふしぎを実験/静電気モーターを作る	5	8
1/28 午後	こども科学館	相撲ロボッを作ろう	22	24
1/28	フォーラム	レモンや食塩水で電池を作ろう	18	19
2/4	永野小学校	光と色のふしぎな世界---簡単カメラ 兼分光器を作って光の実験	10	14
2/4	杉田小学校	ミニホバークラフトやストローロケットを作る	43	イベント
2/11	鶴沼中学校	静電気のふしぎを実験/静電気モーターを作る	25	32
2/16	東汲沢小学校	ミニホバークラフトで遊ぼう	72	イベント
2/18	柏陽高校	紙コップで作るヘッドホン	22	30
2/18	湘南台高校	水をきれいにする実験	14	16
2/25 午前	こども科学館	空気の重さと圧力のふしぎを実験	8	11
2/25 午後	こども科学館	ブザーを作ってモールス通信で遊ぼう	18	21
2/25	フォーラム	音の出る科学遊び	5	7
2/25	相武山小学校	音の出る科学遊び	24	出前授業
2/27 ~3/3	相武山小学校	おもしろ科学で遊ぼう/静電気モータ/ヘロンの噴水/万華鏡などを出展	680	イベント
3/4	鶴沼中学校	ブザーを作ってモールス通信で遊ぼう	29	45
3/11	永野小学校	竹とんぼを作って遊ぼう	5	7
3/11	柏陽高校	ふしぎな紙のマジックワーク	14	15
3/18	湘南台高校	空気の重さと圧力のふしぎを実験	13	15
3/18 午前	こども科学館	ふしぎな紙のマジックワーク	中止	3
3/18 午後	こども科学館	信号機を作って電気の勉強をしよう	25	29
3/25	フォーラムあざみ野	電動ゲジゲジUFOを作ろう	31	イベント
3/25	フォーラム	竹とんぼを作って遊ぼう	10	11
3/27	戸塚区 秋葉小学校	ミニホバークラフトを作って遊ぼう	29	出前授業

(出前授業やイベントなどは応募状況が把握できないため応募人数の記載がありません)

おもしろ科学たんけん工房のホームページ
<http://park2.wakwak.com/~tanken/>
 ホームページから[おもしろ科学体験塾]に申込みできます

市民の皆さん、地域の方々のご支援を
 お願い申し上げます。
 会場近くにお住まいの方、受付業務や広報関係
 なども、お手伝い頂けませんか？